

笠間まるごと 子育てコーナー

今年度、市では「笠間まるごと『子育て都市』宣言プロジェクト Stage2」
として、全分野一体となった子育て施策を展開していきます。
このコーナーでは、同プロジェクトの事業の一部を、不定期で紹介します。

○どなたでもお子さんと利用できる施設を紹介します

笠間市児童館（キッズ館）

こどもや親子が楽しく遊び、学び、交流できる施設です。
年間を通して、こどもや親子が楽しめるイベントも開催して
います。また、子育て支援センターを併設しているため、子
育ての悩みなども気軽に相談いただけます。

住 所	笠間市南友部 1966-140
T E L	0296-77-8340
時 間	午前 9 時～午後 6 時
休館日	年末年始



児童館について

※赤ちゃんとお母さんの健康のため、1 か月検診を受けてか
ら（できれば首がすわってから）ご利用ください。

時 間	午前 9 時 30 分～正午 午後 1 時～4 時（月～金）
閉所日	年末年始・お盆・祝日

①かんがるー

住 所	笠間市南友部 1966-140（笠間市児童館内）
T E L	0296-77-8340

②くりのこ

住 所	笠間市下郷 5140（市民センターいわま内）
T E L	080-5428-4777（直通）または0296-77-1101（内線73194）

③みつばち

住 所	笠間市金井 83-1（かさまこども園併設）
T E L	0296-71-5858

※みつばち専用玄関からお入りください。



子育て支援センターについて

子育て支援センター（かんがるー・くりのこ・みつばち）

親子のふれあいの場として、また、日常の情報交換やお子
さんも友だちと仲良く交流する場としてご利用ください。職
員が常駐し、おもちゃや絵本をご用意しています。

毎月、保健師の出張相談や子育て支援講座を行っています。

問 こども福祉課（内線 165）

○高校生台湾留学事業

校生台湾留学事業出発



出発式では市長が激励



銘傳大学でのレッスン

市内の高校に在学する 3 名が、令和 6 年 9 月 10 日～ 23 日までの 14 日間、
台湾の銘傳大学に語学留学しました。

この留学は、語学力向上と、国際体験を通じた国際理解・知識の拡大など、
生徒の能力や可能性を広げることや、語学を通じて国境を超えた幅広い人的
ネットワーク形成につなげることを目的としています。

留学したのは、県立笠間高校 1 年川井 桜奈さん、県立 I T 未来高校 1 年
米川 美波さん、日本ウェルネス高校 2 年川崎 美樹さん。

銘傳大学の短期英語集中プログラムを受講し、英作文やリスニング・オー
ラルコミュニケーション、プレゼンテーションスキルなどを学びました。休
日には台北市内や九份、十分などを散策し、異文化に触れ見識を深めました。

今回の経験をいかして、海外にも視野を広げ、充実した高校生活を送り、
将来、国際感覚を身に付けた社会人として活躍してくれることを期待してい
ます。

問 学務課（内線 373）



プログラムを無事終了しました



台北 101 の模型の前で

○中学生台湾派遣事業

令和 6 年 11 月 20 日から 23 日まで、市内中学校 2 年生と義務教育学校 8 年生の
12 名が台湾を訪問しました。

生徒たちは、新北市立板橋中学校と、2 つの大学（台北城市科技大学・銘傳大学）
を訪問。台湾の生徒・学生に向けて、茨城県と笠間市の魅力を伝えることをテーマ
に、英語と中国語でプレゼンテーションをしました。発表後の交流では、興味をもっ
たこと、もっと知りたいことを英語で質疑応答し、交流を深めました。科技大学の
先生からは、生徒たちの中国語の発音がきれいだとほめられました。

銘傳大学では、大学の授業を体験し、大学生と英語で質問し合いながら出された
課題を解決する学習を行いました。

英語学習や自分から相手にすすんで発信する大切さを学ぶ 4 日間となりました。

問 学務課（内線 373）



茨城県の魅力を英語で発表



笠間市の魅力を中国語で発表



大学の先生から活動の流れの説明



大学生との課題解決学習